

白土 美恵子 議員（一問一答方式）
太陽光発電への民間活力導入のメリットは
 —初期投資と維持管理費が抑制され、整備期間も短縮—

問 小学校への太陽光発電設備の設置について、再生可能エネルギー全量固定価格買取制度が開始されたことに伴い、民間事業者が設置することのだが、制度の概要と、民間資本を活用する理由は何か。

答 太陽光や風力等の再生可能エネルギーから発電された電気を、国が定める固定価格で一定の期間、電力会社に買い取りを義務づけるものである。太陽光発電の場合、1kW当たり42円で20年間買い取ることが義務づけられ、事業者が安心して事業に参加できる状況となった。民間を活用するのは、1校当たり約3,400万円の初期投資額と、維持管理費が抑制できる上、整備期間が短縮できるなどのメリットがあるためである。

問 蓄電池は高額だと聞いて

加藤 賢次 議員（一問一答方式）
子どもたちのために、小学校に教科担任制の導入を
 —学級担任制と双方の必要性や良さを考えた取り組みを展開—

問 小学校で学級担任制が採用されている理由は何か。

答 学級担任がさまざまな面で子どもたちの様子を把握できることで、安心して学校生活を送ることができる。また、担任がほぼ全教科の指導を行うので、授業時間を柔軟に組み立てることができるためである。

問 教科担任制を導入することのメリット、デメリットは。

答 メリットは、専門性を生かす、より充実した教科指導ができるほか、学級の様子を複数の教師が見ることで、情報交換しながら指導できる点がある。デメリットは、学級担任が子ども

いるが、設置されるのか。

答 蓄電池の設置は提案募集の必須条件としていないが、災害時の電力確保に関する独自の提案も要件としているため、提案されることも考えられる。

問 幼稚園や保育園、市営住宅など、他の公共施設への展開は考えているか。

答 民間からの提案内容や設置状況を踏まえ、社会情勢等を見極めながら検討していきたい。



中学校に設置されている太陽光パネル

新村 健治 議員（一問一答方式）
今後の松林の保全対策について
 —早期発見と状況把握に努め、風致機能の保全を図る—

問 北部地区での松枯れの状況は怎么样了。

答 これまでは百本から二百本程度だったが、最近では急増し、平成23年度は約四百五十本、24年度は約千本が松枯れしている。

問 松枯れに対して市はどのような対策を行ってきたか。

答 松くい虫の駆除として、秋に枯れた松の伐倒駆除、予防として、冬季に健全な松の樹幹に松くい虫防除の薬剤注入を行っている。

問 森林病害虫防除法に基づく高度公益機能森林区域内の場所と面積は。

答 場所は洲原池及び岩ヶ池

星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）
買い物困難な人達（買い物難民）への対策は
 —デマンドバス等の導入についても研究、検討していきたい—

問 最寄りの店舗から500メートル以上離れていて、車を

持たない、いわゆる買い物難民が増えていると思われるが、刈谷市としてはどのように認識しているか。

答 従来型の地元商店街やスーパーが減少し、自動車等運転できない方やパソコンを利用できない方などが、買い物に困るといふ社会問題は本市でも無関係ではないと認識している。

問 公共交通の空白な地域はあるか。

答 公共施設連絡バスの停留所は103箇所あり、おおむね500メートルごとに停留所

上田 昌哉 議員（一問一答方式）
限りある予算の中での、子育て支援の強化を
 —愛知教育大学との連携など市民協働により施策充実—

問 平成10年の出生が1947人だったが、23年では177

4人と減少し、本市でも少子高齢化が進んでおり、今後、高齢

者、子どもにかかる予算をそれぞれ、どのように考えているのか。

答 高齢者福祉に対する費用も大きく増えていくことが予想されるが、子育て施策については、本市の特徴である市民協働による施策を、より一層充実させ、今まで同様、安心して子どもを産み育てることができ環境を実現するために力を入れていきたい。

問 子育て支援にかかる予算が限られる中、本市にある資産を有効に活用することが求められ、例えば、市民から出資を募る「子育てファンド」の創設や本市と包括協定を結んでいる愛知教育大学との連携は有効であると思うが、現在、愛知教育大学とは、どのような連携を図

っているのか。

ているのか。

答 子育て支援関係では、早期療育事業の指導、保育園、幼稚園での研修や保護者向け講話における講師、児童館や子育て支援センターでの人形劇サークルによる講演などを行なっており、今後も連携を進めていきたい。



刈谷市の未来を担う子どもたち

編集後記

（かけはし）

◆広葉樹から落ちた葉は、さらさら風に舞い上げられ、枝木に残った数枚の葉が寒風に耐えている光景を見ると、寒さが一段とこたえる今日この頃。
 ◆師走の日本列島で戦われた衆議院議員選挙は、各候補の熱い訴えをよそに、投票率は戦後最低となりました。新党の擁立などにより、選挙に注目が集まる中、有権者が1,000万人以上棄権したこと、みなさんが日本の将来をどこへ託すか迷い、悩んだ結果ではないでしょうか。
 ◆有権者が、政治に対し不信や不安を払拭できず、期待感を得られていないことに率直に反省しなくてはなりません。

◆刈谷市議会は、12月21日に最終本会議が行われ、全日程が終了しました。各議員それぞれが行政に対し、市民の皆

さんに応えられるよう市民の意見や要望、議案や取り組み等の質疑、討論を行いました。◆また近年、日本の災害を見ると、地球温暖化でしようか、日本列島にゲリラ豪雨や大型で非常に強い台風などが、たびたび襲来することや、地震は日本全体が活動期に入ったかのように、各地で頻繁に起こっています。防災・減災対策など政治に課せられた課題は大きく、市議会として責務を果たしてまいります。

◆最後になりますが、市議会として市民の皆さんに、わかりやすい議会を目指しております。「市議会だより」もいっそう読みやすく、身近なものとして市民の皆さんとのかけ橋になればと思います、今回から編集後記のタイトルを「かけはし」とさせていただきます。今後も期待される議会づくりに努めてまいります。
 （議会広報委員会）